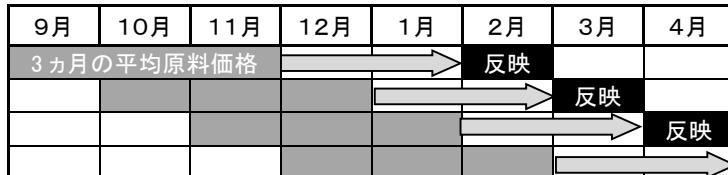


原料費調整制度に基づく2026年2月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。なお、ガス料金負担軽減支援期間のため、政府の支援による18.0円/m³(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2025年9月から2025年11月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]



○2026年2月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2026年1月検針分	2026年2月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	786.50 円	221.10 円	202.85 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	891.00 円	211.63 円	193.38 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,961.30 円	202.31 円	184.06 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2025年9月から2025年11月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF価格)	82,650円/トン(10円未満四捨五入)
2025年9月から2025年11月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF価格)	76,410円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 82,650円/トン×0.9748 +76,410円/トン×0.0404	83,650円/トン(10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定(平均原料価格-基準平均原料価格)	83,650円-54,690円=28,900円/トン (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.075円
ガス料金負担軽減支援による値引き単価(1m ³ あたり)※	-18.0円(税込)
2026年2月分検針の調整額(1m ³ あたり)	28,900円×0.075円÷100×1.10=23.84円 (小数点第3位切り捨て) 23.84円-18.0円=5.84円(税込)
2026年1月分検針の調整額(1m ³ あたり)	24.09円(税込)
(2月分)対(1月分)増減(1m ³ あたり)	-18.25円(税込)

2026年2月分の単位料金を1m³あたり 5.84円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2026年1月分料金	2026年2月分料金	影響額
20m ³	5,123円	4,758円	-365円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp)